

SDGsで地域貢献

2015年に国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)の目標達成に向け、地方の都市ガス事業者が続々とSDGsの取り組みを表明している。沖縄ガス、鳥取ガス、宮崎ガスに焦点を当て、地域貢献や二酸化炭素(CO₂)排出量削減など各取り組みについて紹介する。

宮崎ガスは2020年4月、地域活性化を推進するため、これまで行ってき事業や活動とSDGsを結びつけて紹介する特設ページを、ホームページ(HP)内に開設した。

また20年6月に発行した「環境レポート2020」では、表紙にSDGsのロゴを配置し、内容にも初めてSDGsの考えを盛り込んだ。

◇
 同社では、事業基盤ある地元・宮崎が元気でなければ、事業の継続も発展もないの思いから、地域に貢献する取り組みを続けてきた。

全国の地方都市と同様に人口減少など事業悪化が懸念される中、注目の地域活性化の異なる人々の共通言語となる「SDGs」だった。同社はSDGsを通じて、自治体や地元企業、市民などさまざまな地元関係者と協働することで、さらに地域活性化を目指すとしている。

19年5月社内会議で提案があつた約1年をかけてSDGsを、現在行っている事業や活動との関係性を整理し、ひも付け、昨年4月にHP上でSDGsに取り組みと表明した。

同社の事業や活動とSDGs

宮崎ガス SDGsを共通言語に 協働で地域活性化を目指す

沖縄ガスは2020年7月22日にSDGs宣言を発表した。環境保全に向けて本業であるガス事業では燃料転換のほか、エネルギーやガスCO₂削減の取組を進める。今後は、これらの取り組みの重点項目や到達目標を会社方針や長期経営計画に落とし込み、PDCA(計画、実行、評価、改善)のサイクルを回しながら積極的に活動していく。

◇
 同社が宣言を公表した背景には、創業者の源川善三郎氏が掲げた創業目的の一つ「自然環境保護」がSDGsの目標に通じていることが大きい。SDGsの目標達成に向けた169の具体的なターゲット

①は、SDGsの目標を意識して事業を展開すること。低炭素から脱炭素へ向かう社会環境の変化や電力・ガスの小売全面自由化などによる競争環境の激変において、社員のリスク対応能力、危機管理能力、適応能力などを向上させる。

②は、目標に沿った事業活動を行い、地域からの信頼や社会的価値を高め、顧客から選ばれる存在となる。

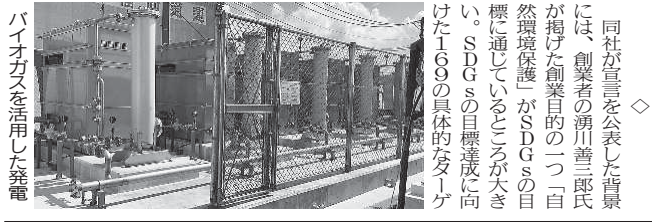
③は、SDGsの目標と同社の経営理念や事業を関連付けることで、国際社会が目指す方向性と同社の社会的役割との関連性を明確化させる。

その中で事業活動への意義を見出すと、社員が会社に誇りを持ち、仕事への意欲向上につながる。

3つの分野別に行う
 具体的な取り組みをSDGsの目標とひも付けて①環境活動の社会活動②経済活動③社会活動の3分野別に行う。

環境活動分野では、「エネルギーをみんなに」と「気候変動に具体的な対策を」に向けて、石油や石炭から天然ガスへの燃料転換や、ガスCO₂削減プロジェクトを生み出した電気と熱を地元企業に供給し、CO₂排出量削減対策などにも役立っている。

また、下水処理過程で出る



パイオガスを活用した発電

沖縄ガス 環境・社会・経済観点で実行 創業目的「自然環境保護」と共通

SDGsの目標達成に向け、地方の都市ガス事業者が続々とSDGsの取り組みを表明している。沖縄ガス、鳥取ガス、宮崎ガスに焦点を当て、地域貢献や二酸化炭素(CO₂)排出量削減など各取り組みについて紹介する。

③は、SDGsの目標と同社の経営理念や事業を関連付けることで、国際社会が目指す方向性と同社の社会的役割との関連性を明確化させる。

その中で事業活動への意義を見出すと、社員が会社に誇りを持ち、仕事への意欲向上につながる。

3つの分野別に行う
 具体的な取り組みをSDGsの目標とひも付けて①環境活動の社会活動②経済活動③社会活動の3分野別に行う。

環境活動分野では、「エネルギーをみんなに」と「気候変動に具体的な対策を」に向けて、石油や石炭から天然ガスへの燃料転換や、ガスCO₂削減プロジェクトを生み出した電気と熱を地元企業に供給し、CO₂排出量削減対策などにも役立っている。

また、下水処理過程で出る

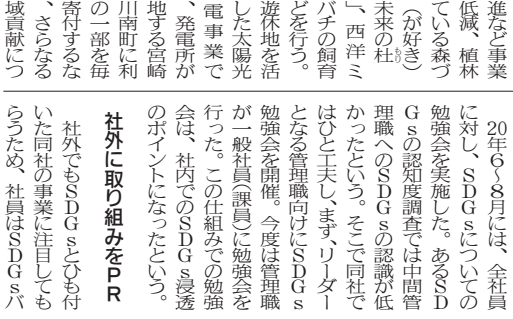


SDGsの目標と共通

4つの柱で推進
 同社ではHPに、SDGsとひも付いた取り組みを①天然ガスの普及拡大②安全、安



川南町に利益の一部を寄付



「未来の杜 綾」での下草刈り

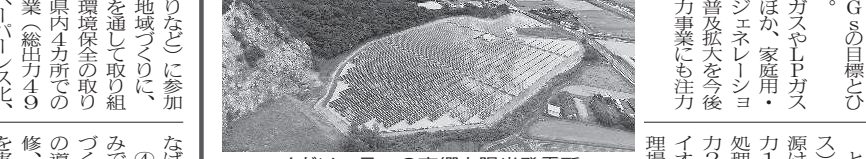
地域行事(祭りなど)に参加して魅力ある地域づくり、社会貢献活動を通じて取り組む。また、地球環境保護の取り組みとして、県内4カ所での太陽光発電事業(総出力4.9MW)やバイオマス発電事業(出力1.9MW)の推進を事業活動での環境負荷低減、植林や下草刈りを続けている。綾「未来の杜」(綾、西洋ミツバチの飼育)などを行う。遊休地を活用した太陽光発電事業では、発電所が立地する宮崎県川南町に利益の一部を毎年寄付するなど、さらなる地域貢献につ

心なりの実現③地域社会への貢献④人を育て、生かす取組みの4つの柱に分けて紹介している。

①天然ガスの普及拡大では、天然ガスが他燃料に比べて燃焼時に二酸化炭素(CO₂)の発生量が少なく、環境負荷が小さい機器やシステムを導入している。

②地域社会への貢献では、

鳥取ガスは1月4日、SDGsへの取り組みをホームページ上で公表した。ガス、電力、通信のインフラ事業を軸に、再生可能エネルギーの導入拡大と、需要家のニーズを捉えつつ豊かな社会を実現すると表明した。今回の公表と同時に鳥取県が地元企



ホームページでPR



メガソーラーの東郷太陽光発電所

出前授業でバイオマス発電所を紹介
 ティーションを設置し、太陽光パネルで発電した電力で水を分解し、水素を製造、供給する一連の設備を運営している。水素・燃料電池自動車への普及とともに、商用水素ステーションや電気自動車の充電設備の整備なども促進していく。

パイオガスを利用して発電し、固定価格買取制度による売電事業も実施している。今年8月には九電から「中核バイオマス発電所(出力4万9000キロワット)」が商業運転を開始する予定だ。こうした再生エネルギーを活用し、環境に配慮した電力事業にも注力している。

このほか、40年近く前から始めた同社周辺の清掃活動「沖縄クリーン大作戦」は、社員が参加する恒例行事となった。

社会活動分野では、住み続けられるまちづくりを「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」に向けて活動する。また、SDGsの目標とひも付けて、再生可能エネルギーの導入拡大と、需要家のニーズを捉えつつ豊かな社会を実現すると表明した。今回の公表と同時に鳥取県が地元企

県のパートナーに登録 官民一体で地域課題解決へ 鳥取ガス

鳥取ガスは「地域との共生なくして事業の持続はなし」という考えから、これまで地域に根ざしたエネルギー事業者としてインフラサービスを提供してきた。特に二酸化炭素(CO₂)を排出しない再生エネルギーを活用したエネルギーの地産地消、地域内経済循環に力を入れている。また、住み続けられる地域づくりを目的として、インフラを活用した各種教育講座やイベントなど地域社会への貢献活動も実施している。

このような取り組みを①エネルギーの安定供給②サービスの多様化③地域社会への貢献④の3つに分け、SDGsの目標達成を目指す。各取り組みをSDGsの目標とひも付けていく。

①は、都市ガスやLPガスの安定供給のほか、家庭用・業務用のCO₂削減プロジェクトを捉えつつ豊かな社会を実現すると表明した。今回の公表と同時に鳥取県が地元企

②は、生活まわりのサービスの多様化を目指す。インターネットの通信サービスや宅配水「アクアラ」の取り扱い拡大のほか、会員サイト「マイエネトピア」によるサービスの充実を図る。

③は、シヨールム「エネトピア」での料理教室や語学教室などの開催によって地域住民との交流も図る。また、鳥取市にポータル発電所を開設するなど、災害時への備えに役立っている活動も実施している。

再エネで次世代教育
 同社は、今回の公表において、エネルギー事業者として脱炭素社会の実現を推進する責務があると記した。その代表的な取り組みとして、同社と鳥取市が共同出資した「とっとり市民電力」による電力小売事業がある。

とっとり市民電力(鳥取ガス)が自社で開発している電力小売事業。東郷太陽光発電所(出力1.9MW)や、秋里下水処理場バイオマス発電所(出力2000キロワット)など、同バイオマス発電所は下水処理場の埋め立てで発生する消化ガスを燃焼して発電している。

また、再生可能エネルギーの地産地消を地域住民に啓発する責務があると記した。その代表的な取り組みとして、電力供給先である地元小学校で出前授業を実施している。エネルギーを切り口に地域の魅力をさらに再認識してもらおうと、次代の人材育成にも貢献する。

脱炭素社会の実現に向けて、水素エネルギーにも力を入れている。鳥取県の水素エネルギー教育施設「鳥取県水素エネルギー教育施設」を、太陽光を利用したバイオマス水素ス

ガスのある暮らし
ウイズガス
盛岡ガス株式会社
 MORIOKA GAS
 代表取締役会長 熊谷 祐三
 代表取締役社長 熊谷 松亮
 〒020-0066 盛岡市上田 2-19-56 TEL.019-653-1241 (代)
<https://www.morioka-gas.co.jp>

北の暮らし、もっとできること
北海道ガス株式会社
 KITAGAS
 代表取締役社長 大槻 博
 〒060-8530 札幌市東区北7条東2丁目1-1
 電話 011(792)8110
 URL www.hokkaido-gas.co.jp

一般社団法人日本ガス協会 関東中央部会
 部会長 内田 高史
 副部会長 羽生 弘一
 副部会長 敦井 友之
 副部会長 岸田 裕成
 副部会長 原山 真一
 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-12 日本ガス協会ビル6F
 電話03(3504)3531
 FAX 03(3504)3530

生きていく真ん中に、
 めくもりはあふれる。
武陽ガス株式会社
 代表取締役社長 山下 真一
 本社 197-0022 東京都福生市本町17番の1
 電話 (042) 551-1621 (代表)
 URL <https://www.buuyo-gas.co.jp>

あしたを輝かすチカラ
 都市ガス・プロパンガス・電気
足利ガス株式会社
 ASHIKAGA GAS
 代表取締役社長 石川 恭敬
 〒326-0047 栃木県足利市錦町27-1 TEL:0284-41-7191
 HP:<https://www.ashikagagas.co.jp/>

生きていく真ん中に、
 めくもりはあふれる。
日本海ガス
 GAS COMPANY